

佐川急便グループが介護旅行事業に参入

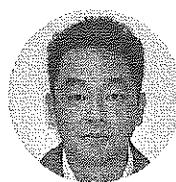
ニュース

旅行会社が次々と介護旅行サービス事業へ参入し始めた。「トラベルヘルパー」と呼ばれる専門部員が同行するのが特徴で、高齢化社会に向けて今後、ますます需要拡大が見込まれる中、新たなビジネスの柱として期待は大きい。

東京地区中心に 3年後には1億円に

今回新サービスを開始するのは佐川急便グループの佐川アドバンス（本社・大阪府大阪市、遠藤英二社長）。東京地区を皮切りに10月1日よりスタートした。

同社が提供するこのサービスは、専門の訓練を受け資格を得た「トラベルヘルパー」が同行していくもの。「これにより介護が必要な高齢者や家族が安心して旅行や外出を楽しんでいたけどともに、お客様のご要望にお応えした独自の旅行



旅行事業部
後藤雅章氏

は、介護保険法のホームヘルパー2級等の介護または看護系の資格と、旅行業法の旅程管理者等の旅行の資格を併せ持つ、旅行サービスはもちろん、観劇や墓参りなど身近な外出支援のニーズにも対応する。トラベルヘルパーの認定は、内閣府認証NPO法人日本トラベル

プランのご提案をさせていきます』旅行事業部後藤雅章課長）。

「既に500件のご相談がきており、滑り出しがタクシーに同乗し、自宅から東京近郊の日帰り旅行や外出をサポートするサービスも実施する。

「旅行といえども、これまでに、ブランド力を高めていきたいと考えています」（後藤課長）。

「既に500件のご相談がきており、滑り出しがタクシーに同乗し、自宅から東京近郊の日帰り旅行や外出をサポートする。旅行といえども、これまでに、ブランド力を高めていきたいと考えています」（後藤課長）。

「旅行といえども、これまでに、ブランド力を高めていきたいと考えています」（後藤課長）。

受け入れ施設への理解求める

なるが、将来的にはプラン旅行としても販売していきたいという。

藏田徹社長（）でも開始しており、すでに社員4名がトラベルヘルパー資格を取得。また、提携先

の特別養護老人ホーム岡

本庄でも3名がこの養成講座を受講しており、こ

れから旅行と介護が連携

した企画を提案していく

という。

旅行会社は旅行事業をそこで同社は旅行事業を30年来手掛けてきた経験とノウハウを活かし、高齢者のニーズ応えられる新しい旅行サービスの開発を検討してきた。

料金は旅行行程費用に

トランベルヘルパー費用を合わせた価格で設定する。

東京地区を皮切りに、関